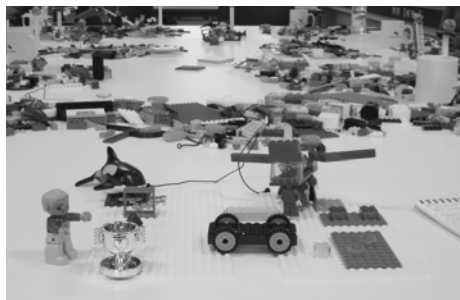


NETWORK VOL.147

TERRA



「レゴ・シリアスプレイ LEGO® Serious Play™ (LSP) の可能性」

「LSPとは...」

デンマークでロバート・ラスムセン・アンド・アソシエイツ社により確立されたファシリテーションの手法である。Serious Playとは「真面目な遊び」という意味である。この言葉は一見矛盾しているかのようだが、遊びには楽しかったり面白いだけではなく、役に立つ要素が含まれていることを意味している。

レゴを道具に使うユニークな会議（話し合い）の手法で、組織のビジョンや将来像創り、新たな戦略立案、創造性の開発、個人のキャリア開発、チームビルディングといった組織の抱える課題を可視化し、組織に内在する知恵を結集して、解決へと導くことができるものである。個人の価値観や想いを効果的に視覚化し、具体的な行動へ転化ができるものである。

レゴはもともと子どもの知育の玩具として開発されたものだ。子ども達は何かが形があるもの、例えば電車とか家とかを作って遊び。だが、LSPでは大人が対象であり、レゴで形が無いもの（例えば思想とか考えなど）を比喻を使い形にしておくことで、自分が普段考えていることや思っていることをレゴで表現し、作品を通して語り合うことができる。それによって自分を内観したり、相互の考えていることが視覚化でき、より解りやすく伝え合うことができる。

また、通常の会議とは違い、LSPではみんなが積極的に参加し発言する機会が持て、遊び(Play)の中に存在するアイデアや創造性を楽しみながら意見を引き出すことができる。役職や肩書きとは関係なく、対等な立場で話し合いができるのだ。

LSPのサイエンス

LSPの理論は、マサチューセッツ工科大学(MIT)の数学者・発達心理学者のシーモア・パパート（1928年～）が同僚とともに開発した学習理論コンストラクショニズム（Constructionism）に基づいている。人間は物を作る時、理論と知識構築が同時進行（コンストラクショニズム）で起きており、意思決定の90%は潜在意識の影響を受けているという理論である。

LSPの万能性

Microsoft, New Balance, Nikeなどの世界を代表する企業、またあのNASAもこの手法を導入し、それぞれの課題解決や開発に役立てられている。日本でも多種多様な業種の企業・団体での実践事例がある。佐賀では、行政、NPO、市民活動団体の話し合いの場や研修として実施してきた。

LSP公認ファシリテーター

僕は日本にまだ20名程しか存在しない（九州で唯一）LSP公認ファシリテーターの一人である。日本に数少ない理由の一つは、現在この資格は海外（デンマーク、アメリカ、上海）にて英語で研修を受けなければならないからだ。すなわち、英語をネイティブ同様に使えることが必須条件である。僕は2011年の1月にデンマークで取得してきた。

この新しくユニークな手法に興味を持つ方も多く、活動の幅は佐賀県内だけに留まらず、九州各地に広がっている。県内では公開オープンセッションを時々行っているの、興味がある方は是非参加していただきたい。LSPは言葉や文書で説明するのは非常に難しいが、参加していただければすぐに理解できる可能性に気づいていただけるはずだ。今年度は佐賀大学でも30時間の公開講座として実施する予定である。これからも様々な職種の研修などでも是非LSPを使っていきたい。

なんで、レゴなのか？

人はその人らしく本当はみんな何らの形で表現をしたい。だれかに自分が思っていることや考えや気持ちを伝えたいはずだ。だが、社会の複雑な関係により自分らしくそれができない人も多い。僕がある講座や授業や活動でその問題を解決するために、様々な手法を使って実践しても何も変わらないかもしれない。だけど、それがきっかけで人生が変わる人もいるかもしれない。だから、僕はその可能性に自分の思いを託したいのだ。

LSPの活動も社会の問題や課題の解決に貢献する一つの方法である。これからも、どんどん実践していきたい対象者の幅をもっともっと広げたい。微々たる力しか無いが、コツコツと積み上げていくことで、形になっていくと信じている。そう...レゴブロックで作品を作るように。

(文/青柳達也)

お問い合わせ：080-6446-7186 aoyagi.tatsuya@gmail.com (LSP公認ファシリテーター青柳達也)
佐賀大学公開講座：http://www.saga-u.ac.jp/somu/kokai.html
Serious Play™公式サイト（英語）：http://www.seriousplay.com/
株式会社ロバート・ラスムセン・アンド・アソシエイツ（日本語）：http://www.seriousplay.jp/

CONTENTS ■ 2012夏

古賀武夫先生の言葉を辿る

一所懸命 恩返し Vol.1

『新会長 地球市民の会を語る』

大野 博之 2

■地球市民の会

和顔愛語 佐藤 昭二 3

第11回通常総会 開催 4

通常総会記念イベントレポート 5

幸せを売る男 6

タイ&スリランカ便り 7

ミャンマーカンカウン準中学校建設プロジェクト活動報告 8

中山間地の元気再生プロジェクト 9

GENKIいっぱいツアー 10

協力者一覧／行く人、来る人 11

■夢の学校をつくる会

総会／「夢の学校」って!! 12～13

■和道流古賀道場

道場通信 14

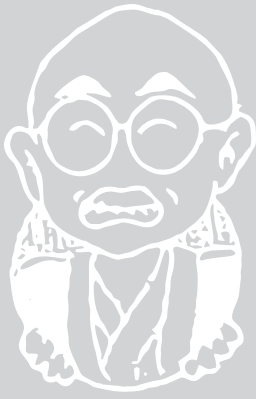
■古賀英語道場

英語的思考のススメ Vol.8 15

■共同執筆

7～9月のお知らせ 16





一所懸命 恩返し Vol. 1

『阪神大震災を迎えて。』

大野 博之

今号から「古賀武夫ブックレット 第四号『一所懸命 恩返し』」(平成七年一月、平成十一年六月)、古賀先生の一九九五年(平成七年)の言葉を辿ります。

この年一月十七日には阪神大震災が起きました。地球市民の会からはボランティア派遣を実施しました。復興支援のための支援活動も実施しました。また、映画「人間の翼」の制作協力が、主体となって推進することになる年でもありました。

阪神大震災について

『今回の阪神大震災は、被災者のみならず、日本中の人々に大きな衝撃を与え、いろいろなことを考えさせています。『われわれの生き方に対する天の警鐘』と捉える人も多くいらつしやる。ここで大事なことは、私たち一人ひとりが自己の原点、つまり、拠って立つもの、経緯、歴史、進むべき方向を再確認することであり、真心から、万物、諸々の先達に対する敬意と感謝を表現することだと思います』

……昨年、東日本大震災の際にも「われわれの生き方に対する天の警鐘」と同様な意見が出ていましたが、このような未曾有の天変地異を体験すると、自然に対して謙虚になり、このような意見が出てくるものようになります。重要なのは、それではわれわれはどうすべきであるか、ということですが、古賀先生は「感謝」だと言っています。感謝とは己を虚とする行為であり、すべてをあるがままに受け入れることです。被災された方には厳しい言葉かもしれませんが、復興にしても、再生にしても、悲嘆から感謝に心が変わったときに始まっていくという事実は東日本大震災復興支援に関わってみて切実に感じることもあります。

ボランティアの本質

『阪神大震災以降、ボランティアばやりの昨今ですが、その本質とは健康に他なりません。自分自身が元気の光に満ち溢れ、微笑みに輝き、周りの皆さんを照らし、「私もあんな人になりたい!」とうらやまれるような人間になることが一番大切なことだと思います。』

……東日本大震災の当会の支援は「佐賀から元気を送ろうキャンペーン」で実施して

いますが、佐賀から被災地に元気を送るために一〇〇%の元気から二〇%を送ると、本人は八〇%の元気になってしまますので、よくありません。疲れて後が続かなくなり、徒労感で喜びも無いからです。ですから、二〇%送るためにはまず自分が一二〇%の元気にならなければなりません。ボランティアをするということは、する側が常に一二〇%の元気が必要というわけです。一二〇%の元気とは、それほど難しいことではありません。無理をして出来るものではなく「楽しく、明るく、」被災地の方々のために何かをしたいと思うことで持つことが出来ます。

自分の今あるのは一体誰のおかげか

『考えてみれば、私たちは生れ落ちてから今日まで、ほとんどの場合、自分の力で何かを成し遂げてきたと思つて生活しています。人生は自分で切り拓いてきた、という人もいます。確かに私たちは何かをやっています。自分で稼ぎ、自分で努力し目標を達成し、自分のことは自分でしています。しかし、それは錯覚でしかないのです。そのようにできているのは、周りの方々のおかげであるという当たり前のことが見えなくなつてしまつているからそう思つてしまふのです。そして、今のうちがあるのは、決して自分の力ではなく、両親、そしてご先祖様の拠つて立つもの、だということをお忘れはいけません。実は、自分の力で成し得たことは一つも無いのです。人間の如き等、生かすも殺すも簡単なことなのに、生かされているのは、万物そして万物のかたにある大いなるもののおかげであり、それぞれに特別な意味があるからなのです。』

……古賀先生は、殺人が罪である理由は、「人間は生きるために生まれてきたから」だと話していました。すべての生き物はそれぞれに大ききるうが、小さきるうがの役割を与えられており、それを果たすために存在している、ということ。したがって、その理由で自殺を否定するものであり、また死刑を否定するものでした。また、今ある命の尊さは、生きていること自体の奇跡にあるとも話していました。今、命があるというのは一万年以上ずっと途切れることなくDNAといういのちが繋がつて

きたということであり、その間に天変地異、戦争、病気、事故など多くの人が亡くなりそのいのちの系譜を途絶えてしまうほうが圧倒的に多いということを考えれば、偶然奇跡的に生き残つたのちが今のいのちだといえるということ。この考え方を強く鮮明に伝えるようになったのが阪神大震災のあとで、映画「人間の翼」に入れ込んでいく理由ともなつてきます。

全身で受け入れる

『人間は生れ落ちたときから既に幸せになるものはすべて与えられている。それに気付かず外にあるものをもっともと求めからいつまでもたつても幸せに気付かない。既に幸せがそばにあること気付いたら、すべてのいいことも悪いことも、なされるがままに受け入れることが出来る。自分に対して不利益を及ぼすものと思われるものが悪であるとは限らない。善となることもあり得るのだ。タイの東北部へのスタディツアーで辺境の農村に着き、その地では「折角のツアーで悪い天気は残念です」と言つた。しかし、そのとき、この地方は極度の旱魃に見舞われており、この地方の農民にとってはこの小雨交じりは「いい天気」であり、タイ東北地方を支援する私たちにとても嬉しいことである。これは私たちにとても嬉しいことである。だから、私たちにとても「いい天気」なのだ。視点を変えるとそうなる。私たちの生活も全身で受け入れることが、すべては自分に与えられた幸せへの必要な過程であることに気付く最も近い道なのである。』

……古賀先生はこのようにことを話しながら、当然阪神大震災のことを頭に入れての発言でしたから「このようなことを言う」と、とんでもない奴だ、といわれてしまふ。そうだが、被災者の代わりにはないのだから、私たち出来ることといえば、被災の中にいる方々の苦しみや悲しみを微笑みに変えるような、温かい光で包めるような人間になることだけだ。だからこそ、自分を見つめ、自分自身を変え、既に自分自身が幸せであることに気付かなければならない」ということも話していました。

(以下続く)

和顔愛語



佐 藤 昭 二

志 と は

この世の中で中心の無いものは有りません。全てに中心が有り、その中心に沿って形が作られています。中心が消えた時はその全ては消えると言われております。これは大きい、小さいにかかわらず全てが同じ原理です。目に見えない小さなものから、反対に大きな国家的なものまで同じ原理です。リビアにおいても、イラクにおいても、中心人物がいなくなることによって国家は乱れていきました。

人間個人においても全く同じことです。中心を失くした人間ほど「憐れ」はありません。すなわち「志」を失くした人間です。サミュエル・ウルマンの詩「青春」は正にこのことを言っていると私は思います。「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う」時には、20歳の青年よりも60歳の人に青春がある」また「君にも吾にも見えない駅通（えきてい）が心にある。人から神から美・希望・喜び・勇気・力の靈感を受ける限り君は若い。靈感が絶え、精神が皮肉の雪におおわれ、悲嘆の氷にとざされるとき、20歳であろうと人は老いる。頭を高く上げ希望の波をとらえる限り、80歳であろうと人は青春にして已（や）む」この詩の中にあります「心の持ち方」とは、それはまぎれもなく「志」そのものでありましょう。

古（いにしえより）より「万事の源、志にあり」と言われるように、全て形に現れてくるのは良くも悪くもその人の「志」が形に現れてきているのです。政治の世界においても同じです。いくら綺麗ごとを言ってもそれは必ず心の奥が形になって表れてくる。それが現実です。過去には「いずれ形になって表れてくる」というように時間的余裕があったのですが、今は全く時間的余裕がありません。「即」です。そうです因果の法則が早まったのです。良いことも悪いことも直ぐ現象に現れるのです。

日本の国は、まさに危うい所に立たされています。戦後、経済優先の国策が取られ、急激な経済成長は繁栄をもたらしましたが、それに伴い、モノや金本位の生き方が限らない欲望を増長させることとなったのです。かつて「貧しいが高貴である」と外国人に称賛されていた日本人が、今や「エコノミックアニマル」と、モノや金に狂奔する動物だと蔑（さげす）まされるようになってしまいました。そうした中で個人の欲望が

増大し、不満と不安が拡大して争いを生んでいます。物質的に豊かになったのにあわせて心の中の不満や不安も増えてきている現象、これが日本の国の危機なのです。

それに加え、日本の家族の「働き」が弱まってきているという現象もあります。元来の日本は「家族主義」です。家を中心に、家族が共同生活をするため、自分勝手な考えや行動は許されず、共同生活を守るための礼儀を身につけることは当然として教えられました。日本における個人とは、全く独立した個人（孤人）ではありません。縦軸に両親、祖父母、先祖、私に続く子、孫があり、そして横軸に妻（夫）兄弟、近隣、社会と深い関わりのあるより深い社会性や公共性を帯びた個人です。しかし、現在のような少子高齢化・核家族化社会においては、この個人のありようが薄まり、伝統的な価値観が薄まってきてしまいます。したがって、家族のつながりを深めなければなりません。それができなかったならば、伝統の分断が生じます。

では、日本人が代々伝えられてきた作法や躰（しつけ）、道徳や、先祖から伝えられた家庭の伝統を継ぐために、また家族の和を図るためにどうすればいいのでしょうか？それは、家庭の中に中心を定めることです。それは簡単なことで、どんな宗派でも信仰でもかまいませんが、家の中心に神仏を祀り、神を敬い先祖を尊ぶことです。とくに、もっとも直近のご先祖である親を大切にすることによって十分なのです。この世に子どものいない人はいても親のいない人はいません、今の私達は全て親を通してあるものであり、この親を否定することは自分を否定する事になります。ですから、今の在り方、心の持ち方を見直し、親に対する感謝を持つということをするべきなのです。それで家庭に中心が生まれます。

今後、どのような仕事、境遇であれ自分の親を感謝することが出来れば、親を感謝することを通して、先祖、国土に感謝をささげて行くことが出来るようになります。これが誠の「志」になります。これが、一人ひとりの中心を定めていく基本となり、社会の基本となっていきます。そうすることが後に続くであろう若者に対して伝えることが私達の最も大事な役目でもあります。

合掌

第11回通常総会 開催

5月19日、佐賀北会館にて第11回通常総会を行いました。28名の会員さんにご参加いただき（委任状提出88名）無事総会が成立、2011年度の活動・会計報告や2012年度の予定をはじめとする5つの議題を全てご承認いただき閉会となりました。

2011年度も当会に対し、あたたかいご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。また今年度も、皆様に会員でよかったと思っただけのような活動を目指し、感動をお届けしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度の報告や今年度の予定等につきまして、詳細は同封の活動報告書をご覧ください。

----- 2011年度の活動振り返り～ダイジェスト版～ -----

◆東日本大震災復興支援活動を行いました。

2011年3月11日に起こった東日本大震災。地球市民の会も復興支援に携わらせていただきました。東北から遠く離れた佐賀で私たちにできることを考え、佐賀県のような団体・人・企業や会員さんをつなげ、佐賀から元気を送ろうキャンペーンを立ち上げ、佐賀独自の活動を行いました。

◆ミャンマーで農業灌漑用の堰(小さなダム)を整備しました。

ミャンマーの南シャン州タンテ地域で農業灌漑用の堰を建設しました。約2キロにわたるこの堰は50年ほど前に作られましたが、修繕が不十分だったため、毎年農業用水を使う280世帯の農家に甚大な被害を及ぼしておりました。外務省日本NGO連携無償資金協力事業として、この堰の大規模な整備を行いました。

◆タイ事業・ミャンマー事業の中間評価を実施しました。

25年続くタイの奨学金事業、11年を越えるミャンマーのタンボジ研修センター事業の中間評価を国際協力機構（JICA）のNGO人材育成研修で実施しました。それぞれの問題点、新しいニーズなどを洗い出し、より良い事業にするために検討が重ねられました。

◆中山間地元気再生事業、パイロット事業が2つ進行しています。

過疎が進む富士町において、地元の若者たちが、自分たちで地域を活性化しようと「ベジボーイズ」が結成されました。また、日韓の大学生が中山間地にホームステイをし、地域の問題について考える新カチガラス計画等も実施されました。

◆ASC2008実施事業者のマークを取得しました。

認定NPO法人国際協力NGOセンターから、組織の説明責任（アカウンタビリティ）・組織統治（ガバナンス）や法令遵守（コンプライアンス）を会員や寄附者などに明示するための41項目の行動基準に従い活動する努力を行っているとして認定され、マークを取得しました。

----- 2012年度、こんなことに取り組みます！ -----

東日本大震災復興支援事業を継続します

被災地の方々から「被災地を忘れないで欲しい」というメッセージを数多く受け、私たちは、亘理郡山元町、東松島市、仙台宮城野区に支援先を得て、今後も継続的な活動を続けていくことを確認しました。また、被災地へのスタディツアーや、ボランティア派遣も実施していきます。

中山間地の元気再生事業を柱に育てていきます。

国際協力NGOだからこそできる国内事業として、高齢化と人口流出で元気が少しずつ減っていく中山間地の元気再生事業を引き続き行います。耕作放棄地を活用したコミュニティビジネスを実現させていく予定です。

ラオス事業を立案します。

昨年度、理事会からラオス事業の調査団をラオス南部に派遣し、事業実施の可能性を検討してきました。現地での教育機会の向上や衛生的な水へのアクセス、衛生的なトイレなどのニーズがありましたので、地球市民の会のできることは何か、成果は挙げられるのか、実施の現実性はどうか、を見極めていき、事業立案に向けて準備を進めていきます。

中国との国際交流事業の可能性を調査します。

佐賀空港に上海からLCC（格安航空会社）が就航し、中国との交流の門戸が広がりました。中国が大国化するにつれ日本との間には見えないバリアができつつあるという危惧のもと、地球市民の会の「人間だいでん、いっしょじゃっか!」精神を発揮する出番が訪れたと考えています。

会員の集いを毎年11月に実施します。

かつて地球市民の会のお得意だった車座形式の集いを復活させます。本年は11月に会員が集まり交流を深める「会員の集い」を予定しています。

ソーシャルメディアの活用で広報機能を強化します。

本年度内にホームページをリニューアルさせます。

既存の各事業の成すべき優先事業を達成します。

タイ事業は奨学金のあり方を含め、TPAタイの可能性を検証します。ミャンマー事業は本年度始まるJICA国際協力機構の草の根技術協力事業をしっかりと立ち上げ、成果達成に向け頑張ります。スリランカ事業は夏に行う5人の奨学生の招聘事業を意義あるものとして成功させます。

通常総会記念イベントレポート

総会の記念イベントとして、絵本作家の草場一壽（地球市民の会副会長）による講演会「いのち、幸せ、今ここに生きる」～あなたから始まる、新しい世界～を行いました。

約130名の方々にご来場頂きました。副田ひろみさんには、「いのちのまつりヌチヌグスージ」、草場さんの新しい作品である「幸せを売る男」の朗読をして頂きました。

草場さんのお話

「いのちは先祖、宇宙からずっと受け継がれてきた。祖先のみんなの命が、今なお、私たちのなかに生き続けている。」「子ども達の教育には、大人が信頼され、かっこいいと憧れの持たれる人になっていくことが大切」「東日本大震災後自分のなかでの幸せの方向を考える時がきている。幸せのカタチは、人それぞれ、多様性があるって良い。」

「ここにいる皆さんがまず、教育に関わってください、命に関わってください。私たちの命は、子ども、孫のなかに生きて続けるという視野をもって、子ども達に関わって欲しい。そんな大人のいる地域をつくるのが未来につながっていきます。」



皆さんの感想

- ・教育の大切さ、輝いて生きることの大切さ、子孫の中に行き続けるためにしっかりと考えてゆきたいと思いました。
- ・子どもと関わるうえで自分の知識や能力が子ども達を成長させるか否かと思っていたが、お話を聞いて、自分が輝いて生きることで子供に伝えられることがあるんだなと思えました。
- ・自分だけの命ではなく繋がっていることを感じました。
- ・幸せには色々な形があること、多様性の大切さを学びました。
- ・これまで、意志・希望・憧れがあっても、現実的にただ流されるままに生きていたら、あきらめてしまうことが多く、行動する前に止まっていました。可能性がある、無限に未来に向けて生きていこうという気持ちが沸きました。また、たくさん話を聞きたいです。草場さん、副田さんに出会えて感謝。
- ・多様性という言葉がネガティブに感じていたが、今から変えていけるように考えます。
- ・自分自身がここに生きている奇跡を信じて、自分の子ども達に教育の本質を伝えてゆこうと思います。



地球市民の会24年度活動スケジュール(予定)

7月

- CONE(自然体験指導者養成講座)
@金立教育キャンプ場
自然体験のプロになろう！
- ふるさとステイ(小学生対象)
@富士町(～8月)
富士町で、自然を楽しもう、人と触れ合おう、思い出つこう！

8月

- カタランカ Cross Asia
@佐賀市
～スリランカ奨学生招聘プログラム～
スリランカの高校生とお友達になりませんか？
- 新がちがらす計画 @富士町
韓国と日本の大学生の学びと交流！

9月

- さが国際ふれあいフェスタ(17日)
@アバンセ
ミャンマー・タイ・スリランカを楽しもう、旅すごろく！
(各国の文化や生活を知り、体験できるブースを出します)

11月

- 会員・支援者の集い
感謝の気持ちを込めて、人と人との交流の輪が広がる会を開きたいと思っています。

12月

- タイ活動地訪問ツアー
タイの子ども達との出会いの旅☆

3月

- 武蔵会
古賀武夫先生のお誕生日を祝う会です。

本年度も、様々なプログラムを予定しておりますが、多くの皆様と一緒に、楽しさや喜びを感じ、幸せな世界づくりにつながっていただけるような活動にしていきたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。

地球市民の会副会長 草場一壽の最新絵本！



幸せを売る男



ある日、幸せを売る男たちがトモの住む村にやってきました。ひとりの男が言いました。「ああ、なんという貧しさだ。ここにはなにひとつない。これでは人間らしい生活はできまい。幸せになるための知恵を売ってやろう。」村の人たちも、まだ小さな男の子トモも男の言う意味が、よくわかりませんでした……。

事務局で販売しています！

一冊1,575円です。(送料別)

ご注文いただいた後、請求書とともに郵送でお送りします。



幸せを売る男に村の

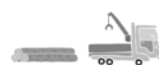
人たちは言いました。

「もっと、もっと幸せにしておくれ。」

すると男は二やりとして答えました。

「それなら、いい方法がある。都会に働きに出ることだ。」

村の男たちは、もう森にも畑にも見向きもせず幸せを求めて都会に出て行きました。



村人たちは休むことも無く、村を思いながら都会で働き、病気になり、ふるさとの森の木や畑は荒れ果て、豊かな自然の姿がなくなっていました。



〈作者からのメッセージ〉

世の中、なにが起きても「経済効果」「経済損失」に分けられ、経済が至上の物差しとなった時代がありました。あえて過去形で書きたいと思います。

いまや、苦難の果てであろうとも価値観は変化しています。個々が生きることの意味を多様なかたちで求め始めました。多様性。その幅こそが世界を豊かにすると考えます。

草場 一壽



大きく成長したトモは、荒れ果てた村、病気の大人数の村、そして何もなくなってしまった貧しい村を救うために、都会で働くことにしました。

はたして、トモはどのように

にして村を救うのでしょうか。

都会で何をしようとしているのでしょうか。

サンマーク出版より

地球市民の会の国際協力活動は「本当の豊かさ」「本当の幸せ」を考えるための勉強のための活動です。ですから、私たちは「協力している」のではなく、「協力させていただいている」と考えています。日本は「幸せの先進国」なのでしょうか？この問いに対する答えがこの絵本の中にあります。「幸せを売る男」は地球市民の会の活動を一言で語る絵本であり、地球市民の会創設者・古賀武夫が訴えていた「人間の持つべき文明」を知る入門書といえます。

タイ&フリランカ便利

タイからサワディカー

タイ地球市民奨学金の支給地タイでは、5月、子ども達は新しい学年を迎えました。今年も奨学金の活動を通して、子ども達へ学ぶ機会、思いやりの心を育む機会、興味や関心を広げる機会になるよう取組んでいきたいと思っております。今年もまた1年、タイの子ども達へのエールをお願い申し上げます。

タイのことを身近に感じて頂きたい!!深く知って頂きたい!!ということで、今回は、地球市民奨学金の支給地であるタイ・ウドンタニ県で暮らされている里親の篠原さんに、投稿して頂きました。



篠原さん

はじめまして。2年前から地球市民の会の支援をさせていただいております篠原といいます。私は福岡県出身の男性、今年で39歳になります。妻がタイ人ということもあり、昨年よりタイに住むことになりました。

タイというと首都のバンコクやリゾート地であるプーケットを想像する方が多いと思いますが、私が住むのはタイ東北部のウドンタニという町です。地球市民の会に関わっている方は、支援している学校があるので名前はおなじみかもしれません。現在こちらに移り住んで1年になります。タイという国は南北に長く、日本の国土の約1.6倍もあるので、地域によってさまざまな特徴があります。今回は、私の住む東北部およびウドンタニという町について紹介したいと思います。

ウドンタニのあるタイ東北部は、タイの中では貧しい地区といわれており、タイの中では所得水準が最も低く、主な産業としては農業です。その農業も気候と土壌に恵まれていないため、雨季のみしか農業ができず、乾季になるとバンコクなどの都市に出稼ぎに行き、タクシー運転手などのインフォーマルセクターで働いている人が多数います。親の所得が少なく、不安定なため学校に行くのが困難な児童生徒がまだまだ多くいるのが現状で、そのような子ども達に奨学金を送って支援しようというのが、地球市民の会の活動です。私も微力ながら支援をさせていただいております。

ウドンタニという町は、タイ東北部に位置し、バンコクから五百数十キロ離れています。東北部でも北部に位置し、隣国のラオスにとっても近いのです。バンコクからは列車、バス、航空機という手段で行くことができます。飛行機で約1時間です。農作物の取引の中継所として発展し、タイ東北部の北部では最大の商業都市です。ベトナム戦争時は米軍基地が置かれ、北ベトナム攻撃の最前線基地の1つになっていました。現在は、基地はなく、空港と空軍の基地として使用されています。商業都市としてのウドンタニはバンコク同様、多くの中国人(華僑)が移住し街で商売を営んでおります。街中に多くの中国寺院や施設を見ることができます。街の中にはこれといって見どころはありませんが、ノンプラチャック公園という大きな公園が整備されており、市民の憩いの場になっています。郊外に目を移せば、パンチェン遺跡という先史時代の遺跡があり、世界遺産になっています。隣国ラオスにも近く、タイ各地からラオスを訪れるための拠点としての交通の要衝にもなっています。(つづく…)



ウドンタニの中心部。ここ数年でショッピングセンターが次々に立ち並んだ。

奨学金を受けている子ども達が暮らす村。田んぼ、赤土の道路、雨水を使った生活が広がる。



チャリティーショップ『ばーん・たわん』ニュース

2010年6月にOPENして、早いもので2年という月日がたちました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



ボランティアで国際協力に参加

「新しいことに挑戦できる場で楽しい」「仲間と集まって、タイの子ども達のために活動できることが嬉しい」「もっとたくさんの人に知ってもらえるようアピールしていきたい」「納品できない布で何かリメイク品を作っても楽しそうね」

寄付品数(お店に納品した数)・・・ 826点 寄付者数・・・ 103名 売上・・・ 577,315円

寄付品BOXの設置で、国際協力に参加

タイの子ども達の写真が、貼られた可愛い寄付品回収BOX。これは、損保ジャパン佐賀コールセンターさんの社員の方々の休憩室に設置されています。現在、BOX設置をして、ばーん・たわんに参加したいという方を募集中です。その場所の雰囲気にあったBOXを作成させて頂きます。
幅460mm×奥行365mm×高さ785mm



寄付品BOX設置!

寄付品送って国際協力に参加

「段捨離をしよう!そうだ、太ってキツイ服は活用してもらおう!」と送ったのがきっかけ。「関東からの送付は初めてです。」とお手紙がきて嬉しくなりました。少しの気持ちも誰かの役に立つのならと、楽しく寄付品を送ることで参加しています。

今年からは、タイだけに留まらず、アジアの子ども達の教育環境改善を目指した活動を展開していきます。
引き続き、応援よろしくお願い致します。

ミャンマー通信 活動報告

カンカウン準中学校建設プロジェクト

3月に実施した「ミャンマーに学校をつくろう！ボランティア&スタディツアー」

関東、関西、福岡、鹿児島、佐賀から大学生や社会人7名が参加し、TPAのサイトを見学したり、学校で子ども達と交流をしました。

交流したカンカウン準中学校では、学校や村の様子、問題を聞き取り。校舎の老朽化の問題、教室の不足…校舎に問題を抱え、学校の改築を望む村の人の声を聞き、その現状を目の当たりにした彼らはカンカウン準中学校の改築資金を集めることを決意したのでした！

帰国後、彼らは各地域ごとに活動を展開しております。目標額は200万円！今回は、その活動を報告します。

①チーム名(独自にあれば)、人数 ②今までの活動・総寄付(募金)額 ③これからの活動予定 ④みなさんにメッセージ

関東チーム

- ①現在7名(TPA東京と協力)
- ②プロジェクト広報のためのfacebook pageやチラシ作成、活動の記事作成(毎日小学生新聞)
NHK国際放送局の取材
手作りの募金箱設置、株式会社NATURALでの募金
寄付金総額、現在26,200円
- ③募金箱の制作と設置個所の拡大。
「ミャンマー写真展と報告会」開催
お茶の水女子大学での講演会、勉強会、文化祭への出店(11月10日、11日)
JICAでのグローバル教育コンクールへの参加
人形町でのお祭りへ出店(10月19日、20日)
- ④今後東京での活動の協力者をさらに増やしていきたいと考えています。皆さんご協力よろしくお願い致します。

佐賀チーム

- ①私たちは『TEAM☆SAGA』として10名で活動しています。
- ②大学内で報告会、チャリティー写真展・バザーを行いました。6月に行った写真展では、募金として約14,000円、バザーの売上として約20,000円をいただきました。
- ③大学内から範囲を広げ、佐賀市内で街頭募金、チャリティー写真展を行ったり、小中学校に出張講演会をしたりしたいと考えています。
- ④始めは二人だった佐賀組もたくさんの人に協力してもらい、活動の幅が広がっています。大学生ならではの視点を活かして、チームみんなで、楽しくて興味を引くイベントを作っていきたいです！



鹿児島チーム

- ①チーム名：かごしまミンガラバの会を略して『かごみん』。現在、鹿児島大学の2～4年生を中心に15名ほどのグループで活動。
- ②鹿児島中央駅での街頭募金を6/10に行いました。寄付額は13,980円。また、南日本新聞社のキャンパスウェブに記事を書いてもらい、読者の方に5,000円寄付して頂きました。
- ③7月：鹿児島市内の飲食店やコンビニを中心に、店頭で募金箱を設置してもらい、募金の協力を呼び掛けていきます。鹿児島中央駅での街頭募金活動も7月8日と15日に行う予定!!
8月：4年生を中心に鹿児島県内の企業をまわり、協力していただけるよう頑張っていきます。
9月：2年生を中心に鹿児島の温泉施設などで、写真展を開催しようと計画中です。
- ④鹿児島大学生を中心としたメンバーは、みな国際協力やボランティアへの意識が高く、とても活気溢れるチームになりました。これまでの活動を通して、『鹿児島人』の温かさをたくさん感じる事ができ、多くの方に応援のメッセージを頂きました。ミャンマーの子供たちの『夢』が叶えられるよう、また、鹿児島の温かい想いをミャンマーへ伝えられるよう、チーム一丸となって活動を頑張っていきたいと思います。応援のほどよろしくお願いします。



福岡チーム

- ①現在は10名前後のチームです
- ②③まだ実施した活動はありませんが、8月か9月に九州大学箱崎キャンパスの講義室を借りて映画上映会をしたいと考えています。
- ④自分がやりたい活動をやる範囲で頑張りたいと思います！

活動の様子は

Facebookの<http://www.facebook.com/kankaun.school>

でもご覧になれます。

寄付も受付中です！！

ぜひ皆様も彼らの学校建設プロジェクトを、
またミャンマーのこどもたちを応援してください！



中山間地の元気再生プロジェクト

ベジボーイズ精力的に活動中！！

昨年、結成した佐賀市富士町上合瀬集落の地域活性化グループ「ベジボーイズ」。これまでの地域に根付いた活動により、地域内で応援してくれる方々が増えてきました。今年は地域の問題点である荒れた畑を再生する事業を中心に取り組んでいます。竹を伐採し、重機を入れ土の掘り起こし作業を行なっています。また、昨年冬にも行なったキムチづくりを今年も実施します。今年は必要な野菜はすべて畑で作ろう！ということで唐辛子や大根、白菜を植えていきます。

今回はベジボーイズの副会長である、友田勢士さん（28）にベジボーイズとして活動する想いを話してもらいました。



重機を使って耕作放棄地を耕し中



丸1日かけてきれいになりました

自分たちの住む集落から若い人が少なくなってきたのを見てきて、自分たちの集落は将来どうなるだろう？と危機感を抱いていました。昨年より地球市民の会さんと一緒に集落の存続のために様々な活動をさせてもらっています。地域のお年寄りや子どもたちが住みやすいと思ってもらえる「地域全体が家族」のような集落づくりを目指しています。それが外の人にも楽しい・温かい雰囲気が伝わり、みんなが気軽に来てくれたらと思っています。今後ともお世話になります！よろしくお願いします！



中国上海に調査に行きました！

佐賀と上海を結ぶ春秋航空が1月に就航しました。片道最安3000円での購入が可能です。

週3便になり、これからますます人の行き来も今まで以上に必要になります。日本と中国では、近年の国同士の問題や歴史の問題などでお互いに悪いイメージを持っている人もいるようです。当会としては、韓国とのかちがらす事業が始まったときと同じような状況ではないかと感じ、もっとお互いを知ることができる交流ができないかと考えました。人と人との繋がりをつくり、国境を越えて、心の家族になることを目的にした交流事業の可能性について大学の先生や関係者に会って話を聞いてきました。



日本語を学んでいても日本人と話す機会が少なく、日本に行って文化などを学びたいと思っている学生はたくさんいることが分かりました。（浙江城市大学）



今後の連携や事業展開について話し合いを行いました。（上海師範大学天華学院）

来年の夏にホームステイ事業を予定しています。また、進捗状況など会報でも報告します！

復興に向けて歩む施設訪問、三大絶景 松島・世界遺産 平泉中尊寺をめぐる
東北震災スタディツアー



GENKI いっぱいツアー



地球市民の会、会員のみなさま!

被災地の方々から一番よく聞くのは「記憶になってしまう前に、見に来て欲しい。話を聞いて欲しい」
何か復興支援の活動をするだけでボランティアではありません。行って、見て、話を聞く、今、そんなボランティアが求められています。

被災地を訪ね、復興に向かってがんばる方々のお話を聞き、まだ残る被害の傷跡を記憶し、そして、東北の文化や自然に触れることを目的としたツアーに参加しませんか?

佐賀から復興支援活動に関わるボランティアが当時の出来事や支援の状況などをガイドします。支援などでつながった方々からのお話も聞きますので表面的ではない情報を体感できます。

支援先の施設、仮設住宅、気仙沼復興屋台村などでお話を聞きます。三大絶景 松島・世界遺産 平泉中尊寺、などの観光地へも訪れます!

旅程

1日目	佐賀 → 飛行機 → 東京 → 新幹線 → 仙台 → バス 施設訪問 → 松島 泊
2日目	松島観光 → 被災地をバスの中で見る → 仮設住宅視察 → 気仙沼(夜、復興屋台村など)-バス移動 → 一関泊
3日目	平泉・中尊寺観光 → 一関 → 新幹線 → 東京 → 飛行機 → 佐賀

日程

- ★7月27日金曜日～29日日曜日 2泊3日(締め切り7月10日) ★10月26日金曜日～28日日曜日 2泊3日(締め切り10月10日)
★8月10日金曜日～12日日曜日 2泊3日(締め切り7月25日) ★11月9日金曜日～11日日曜日 2泊3日(締め切り10月25日)
★9月14日金曜日～16日日曜日 2泊3日(締め切り8月25日) ※最低催行人数15名(15名に満たない場合は催行されません。)

参加費

98,000円(佐賀空港発着)

参加費に含まれるもの 交通費、宿泊費、夕食1回、朝食2回、施設への謝金

参加費に含まれないもの 昼食3回、夕食一回(気仙沼復興屋台で自由に取ります)

このスタディツアーは佐賀空港発着になっていますが、東京駅での合流(AM10:00ごろ)、仙台駅(AM11:30ごろ)からの合流も可能です。事務局大野までお問い合わせください。

まずは訪れてみませんか?

被災地を心に刻む3日間
東日本大震災

3・11

佐賀 → 東北

GENKI いっぱいツアー

佐賀から元気を送ろうキャンペーン スタディツアー
復興に向けて歩む被災地訪問、
日本三景「松島」、世界遺産「平泉・中尊寺」をめぐる
2泊3日 98,000円

被災地を訪ね、復興に向かって頑張る方々のお話を聞き、まだ残る被害の傷跡を記憶し、そして東北の文化や自然に触れることを目的としたツアーです。
佐賀から元気を送ろうキャンペーンのボランティアがインタープリターとして
添乗し、当時の出来事や今などをガイドします。

※本ツアーは、被災地についてさまざまな角度から語り、被災、復興、当時の被災地や今などについて異なった視点から語り、その価値を伝えることが目的です。

佐賀 → 東北 GENKI いっぱいツアー

佐賀から元気を送ろうキャンペーンでは被災地のために多くの人が集まり、さまざまな活動を行っています。
そんなとき「ボランティアはできないけど、被災地に行ってみよう」そんな思いを被災地の方から多く聞くようになりました。
ボランティアだけが復興ではありません。
なぜなら被災地のみならず「見に来てほしい」、「そんなふうに語られるからです。被災地の現状を知り、忘れたいではない、復興にはまだまだ時間がかかることを知ってほしい」と願っています。
震災から一年が過ぎ、被災地の状況は劇々と変化をしています。被災地の生の声を聞き、現状を肌で感じ、来るの新しいものを食べ、東北に目撃して、東北の未来を築くこと。
これも未来につながります。
ぜひ東北へ足を運び、そのことを実感してください。

日	行程	食事
1日目	佐賀空港 → 飛行機 → 東京 → 新幹線 → 仙台 → バス 施設訪問 → 松島泊	夕食
2日目	松島観光 → 被災地をバスの中で見る → 仮設住宅視察 → 気仙沼(夜、復興屋台村など)-バス移動 → 一関泊	朝食
3日目	平泉・中尊寺観光 → 一関 → 新幹線 → 東京 → 飛行機 → 佐賀空港	朝食

●最低催行人数 15名(15名に満たない場合は催行されません)
●参加費 98,000円
●参加費に含まれるもの 交通費、宿泊費、夕食1回、朝食2回、施設への謝金
●参加費に含まれないもの 昼食3回、夕食一回(気仙沼復興屋台で自由に取ります)

※本ツアーは、被災地についてさまざまな角度から語り、被災、復興、当時の被災地や今などについて異なった視点から語り、その価値を伝えることが目的です。

催行日	締め切り
2012年 7月27日(金)～29日(日)	7月10日
2012年 8月10日(金)～12日(日)	7月25日
2012年 9月14日(金)～16日(日)	8月25日
2012年 10月26日(金)～28日(日)	10月10日
2012年 11月9日(金)～11日(日)	10月25日

※本ツアーは、被災地についてさまざまな角度から語り、被災、復興、当時の被災地や今などについて異なった視点から語り、その価値を伝えることが目的です。

見どころ!

日本三景 松島 2012年6月に世界遺産に登録された、松島。その美しい風景が、今もなお多くの人々を魅了しています。このツアーでは、松島の美しい風景を堪能することができます。

世界遺産 平泉(中尊寺) 2012年6月に世界遺産に登録された、平泉。その美しい風景が、今もなお多くの人々を魅了しています。このツアーでは、平泉の美しい風景を堪能することができます。

このほかにも
ずんだもちや中タンなど東北には魅力がたくさん!

お申し込みは 祐徳旅行株式会社 TEL0952-24-7147 (FAX0952-24-7028) まで

※本ツアーは、被災地についてさまざまな角度から語り、被災、復興、当時の被災地や今などについて異なった視点から語り、その価値を伝えることが目的です。

はじめまして！この5月から地球市民の会にて研修させていただいている佃 麻実（つくだ まみ）と申します。

熊本県出身の27歳、目指すは“くまもん”のような、どっしりとした癒し人です。世界中の人々の幸せを自分の幸せだと感じられる人・地域づくりに取り組むTPAの思いや活動方針に共感した私は、TPAでの毎日がとても有難く、刺激でいっぱいです。今後、NPOで地域づくりに関わる仕事がしたいと思っており、TPAの事業の中でも主に、中山間地域元気再生事業について関わらせていただいております。自然を守り人や文化を育む“農”の力って凄い！この“農”をキーワードにした地域づくりを見つめ直さなければいけない…という熱い思いで一杯です。素敵な方・熱い思いの方が沢山いる佐賀！どうぞ、宜しくお願いいたします。



協力者一覧

※2012年4月～2012年6月まで

正会員

神山 秀美
的野 育子
堤 加奈子
徳光 清孝
野口 翔平
古川 昌宏
牧瀬 弓子
本村 満江
中本 正一
佃 麻実
川原田 キャサリン
平野 喜幸
古賀 洋子
古賀 慈猛
古賀 友大
蒲生 正裕
唐沢 利夫
田中 陽子
中島 俊子
納富 ハヤ子
林口 彰
深川 ひろみ
前田 英彦
松本 裕
宮島 町子
山本 泰
吉井 英隆
久保 正敏
坂井 善徳
八田 康博
浅川 達夫
市原 次郎
岩谷 トモ子
小笠原 平八郎
北島 恭一
草場 一寿
黒岩 耕
甲本 洋子
田中 進
多良 淳二

千布 浩行
土井 眞信
松尾 隼雄
宮地 大治
山口 ひろみ
小園 拓馬
戸田 玲子
岩永 清邦
藤瀬 伸恵
江口 恵美

購読会員

牟田 泰明

賛助寄付会員

福井 丈一郎
横山 真為子

特別賛助寄付会員

小林 敏孝
中尾 清一郎

書き損じハガキ・古切手

高野
馬場 龍之介
古賀 智津子
磯部 芳子
真如苑
神野町郵便局
矢新 教子
佐賀県県民協働課
平松清風大学
久保薬局
大野
関本 節子
牛津中学校
池田 サチ子
吉田 純子
中島 康子
株式会社損保ジャパン
「J-SA佐賀市部」

佐賀市社会福祉協議会
大和支所
井上 祥代
白井 憲一

ミャンマータンボシサポーター
福岡黎明ライオンズクラブ
貝通丸 直子

カンカウン準中学校建設基金
林 陽子

クーキャオ高校

小松 重輝
佐々木 佳寿子
野内 直穂美
森永 勝馬
大塚 寿美雄
青柳 光美
内山 治郎
大野 博之
西山 峰次
祓川 清美
加藤 由紀子
円城寺 久好
松林 久美子
納江 幸利
的野 直喜
前田 綾子
江口 隆通
吉井 英隆
林口 多江子

クーキャオ中学校

別頭 照代
中村 志津香
池田 サチ子
本弓 康澄
佐藤 基子
平野 朋子
平川 恵里

浦郷 めぐみ
板垣 道代
木下 博和
野内 直穂美
中島 文子
山口 則子
馬場 龍之介
吉田 じゅんこ
原田 典子
森永 勝馬
馬場 佐和子
宮地 信文
内山 治郎
彌富 和枝
武藤 鼓
円城寺 久好
倉富 博美
井上 弘子
白井 憲一
樋口 啓子
平野 京子
貝通丸 直子
眞崎 健次郎
南里 玲子
田久保 克明
古賀 由紀子
榎田 智子
佐藤 邦彦
大野 圭子
真子 ハマ代
江口 恵美
岡 大雅
古野 眞美
榎田 智津子
平嶋 トキ子
榎田 奈保子
西山 峰次
愛野 良治
山下 雄司
寶泉 正美
納江 幸利

的野 直喜
千々和 美香
川崎 朋子
中村 圭一
池田 サチ子
近藤 剛
柳原 忠行
野方 正義
椎葉 隆幸
近藤 剛
田寄 正義

ボーゲウ校

池田 サチ子
田中 亜矢
亀井 一恵
稲葉 田鶴子
吉井 学
松林 久美子
松林 久美子
吉田 純子
吉田 純子
寺戸 純子
戸田 玲子
吉田 史郎
江口 はる美
亀井 一恵
福井 丈一郎
戸田 玲子
西山 峰次
愛野 良治
前田 勝美
納江 幸利
宮島 町子

シショダヤ

吉田 純子
前田 勝美

支援金寄付

特非)国際NGOセンター支援金

佐賀県CSO推進機構
にわかと音楽でつながる
いのちIN鹿島実行委員会
だいでんいっしょプログラム
唐津ライブ
だいでんいっしょプログラム
唐津プラス
だいでんいっしょプログラム
有田琉球園祭り太鼓佐賀支部
だいでんいっしょプログラム
鳥栖

地域戦略研究会
こだまの富士倶楽部

ばーん・たわん

中里 文子
梅野 朱美
山下 徳子
NPO法人・武道塾
河村 嘉
井上 好善
相川 八重子

タイ教育基金

貝通丸 直子



※順不同で掲載させていただいております。
※大変失礼ですが、敬称は省略させていただいております。いつも本当にありがとうございます!!

夢の学校タマテ箱

夢の学校タマテ箱の子ども達にタマテ箱で楽しいこと、おもしろいことを聞いてみました。

お友達が空手で 帯びの結び方を 教えてくれた。	一番初めに会った、 ドリームアーティストの 大志さんの話に 興味を持った。	わりがにを つかまえたこと。	4年生を送る会を したこと。
お友達を いっぱい 増やしたい。			料理が できること。
みんなと お能の先生の 声がちがった。			空手が 楽しい。
大志さんが、震災で行かれたところで、 木が龍みたいな形で残っていてそれに、 登っているところがすごかった。	夢の学校の ひとたちが おもしろい。	空手がむずかしい。	

ぼうけんタマテ箱

今年も開催、夏タマテ箱。みんなキャンプが終わるころには一回りも二回りもたくましくなります。

夏タマテ箱：8月21日～24日
(佐賀市金立キャンプ場)

ちびっ子夏タマテ箱：8月9日～11日
(佐賀市富士町大串公民館)

「生きるチカラ」

- テントを自力でたてる
- 異文化交流
- 星の観察
- 金立登山



「感じるチカラ」と「行動するチカラ」

- 川遊び
- 積み木遊びを通して自然となかよく
- 異文化交流
- まっくらやみでのおはなし会

教育シリーズ

第8回教育シリーズ。今回は、真の英語力と国際性を育てる大学として、秋田に誕生した公立大学法人国際教養大学の
中嶋嶺雄学長を講師としてお招きし、講演会を開催します。

佐賀県知事との対談、学生パネリストらを交えたシンポジウムを予定しています。

日時：12月1日（土）

題名：「世界に通用する子どもを育てる」 ～佐賀から真の国際人を～

- 夢の学校としてなにが大切か？なにをすべきなのか？
- 方向性を見失わないように活動を広げていきます。

設立7周年 平成24年度通常総会

去る5月17日、通常総会で、今年度の活動方針と内容が承認されました。

また、今年度は任期満了に伴う役員の変更があり、退任者は草場一壽さん、土井美智子さん、満岡聡さん 以上の方々です。今まで、会の運営のため先頭に立って牽引し、方向性を見失わないようにと常に心寄せて頂きました。本当に長い間、会を支えて頂きありがとうございました。今後も見守っててください。

新しく理事として会を支え、共に活動してくださる新役員は岩崎正さん、山下春美さん、吉村直記さんです。新監事は稲富正人さん。以上、理事12名、監事2名でスタートします。これからもよろしくお願いいたします。

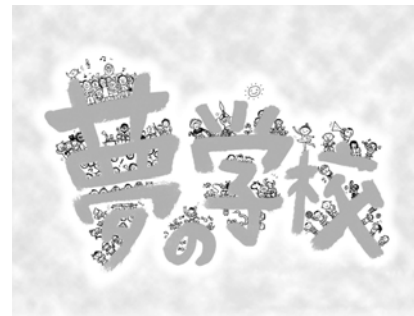
「夢の学校」って！！

毎回「夢の学校」の様子をお伝えしていますが「夢の学校」ってどんなところ！！と思っ
ていらっしゃる方も多いのでは？

この号では「夢の学校」の秘密(?) についてご紹介します。

当会は平成17年に（創始者）古賀武夫を理事長に、特定非営利活動法人「夢の学校をつくる会」として設立されました。現在は設立当時の目的「地球が教室、毎日がいのちのまつり」をモットーに三代目理事長、江打正敏を中心に活動しています。

人間力を育むために建学の精神として「自立」「共生」「協力」を掲げ、それに五本の柱（日本、語学、自然、武道・芸術、地球市民）を取り入れた活動を行なっています。



----- 主な活動 -----

夢の学校タマテ箱：小学1～4年対象の通年プログラム。日々の生活を基本とした中で武道や芸術、語学などを通して、人間性や国際性を育む。

ぼうけんタマテ箱：小学1～中学生対象の週末・夏休み自然体験プログラム。自主性と強調性学び、自然の中で心と体を育む。

教育シリーズ：多様な角度から教育の原点を探り、考え、行動するための講演会などのプログラム



古賀道場で幼児が大暴れ!?

古賀道場幼児クラスが元気です

古賀道場幼児クラスが今ブーム?

武道への注目度も上がってか、今年度、幼児クラスが大盛況です。

現在12名の年中～小学1年生が毎週水曜、金曜にカワイらしい空手衣を

着て道場狭しと暴れまわっております。技術は二の次!!まずは空手を楽しむこと!!元気がなにより!!

その元気に毎回振り回される師範であります。



道場通信

和道流
古賀道場

暑くても空手するぜ～ 今年も大舞台で暴れてくるぜ～ !!ワイルドだろ～ !!

古賀道場、全国大会出場者紹介

今年の夏も、古賀道場からたくさんの選手が全国の大舞台に挑戦してきます!!
彼らの活躍に大きな声援をよろしくお願いします!!



第12回全国少年少女空手道選手権大会

平成24年8月25日・26日 東京武道館

小学生の夢舞台。県大会上位2名までしか出場できない大会です。

毎年ハイレベルな試合が展開されます。

選手紹介 今泉 克成選手 (小学1年生) 形の部
百武 裕星選手 (小学1年生) 形の部
藤原 菜々子選手 (小学3年生) 組手の部



第20回全国中学生空手道選手権大会

平成24年8月24日～26日 広島県総合体育館

こちらも県大会を勝ち抜いた上位2名の選手、団体チームのみが出場できる大会です。

選手紹介 梶山 広大選手 (中学3年生)
梶山 大地選手 (中学3年生)
吉原 翔汰選手 (中学2年生)
3名とも城東中学校チーム団体組手で出場



第48回和道流空手道連盟全国大会

平成24年9月22日・23日 東京武道館

今回で48回目を数える和道流の全国大会。全国から強豪選手が多く集まる大会です。

選手紹介

・吉村 洋祐選手	・吉村 哲哉選手	・福岡 知寛選手	・吉原 翔汰選手
・古賀 愛望選手	・杠 蓮選手	・音成 龍二選手	・久保田ゆきの選手
・古賀 大喜選手	・山野 由香子選手	・百武 歩美選手	・久保田 竜成選手
・杉田 こころ選手	・光安 貫泰選手		



「若者の内向き志向の問題とグローバル化について」

海外でのスポーツ選手の活躍、日本代表の国際試合の開催、日本の企業の世界進出や英語公用語化、小学校での英語活動必修化など、ますますグローバルな現代社会へと向かっている。その一方で、日本の若者の内向き志向が問題視されている。僕の個人的な経験だが、昨年度から佐賀大学で非常勤講師をやっており、学生の生の声として「海外って怖いよね」とか「留学は面倒くさい」と聞こえてくることがある。企業では、新入社員に対するアンケートで海外勤務を希望しない若者が増えているそうだ。

誰もがみんな海外留学をした方が良いと言っているのではない。しかし、外で見て学んできた体験は社会人になった時に役に立つことは間違いない。大学が就職予備校としての位置づけが大きく、「留学を考えていますが、就職に不利になりますか？」などと言う的外れな質問が学生から出てくるという事例もある。留学したことで不利になる企業ならば、そもそもそこで働く必要などない。そんな

堂々とした姿勢であるべきだ。

日本は高度成長期から世界と共存する道を歩み続け、日本の企業は世界の企業に発展していったゆえに、現在のグローバル社会へと進化している。今までも、これからも、海外に出るということは、外から学ぶことだけではなく自国を振り返る最高のチャンスになる。

そのような中で国も動き出し、次のような取り組みが始まっている。

「文部科学省では、若い世代の「内向き志向」を克服し、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆の強化の基盤として、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図るべく、大学教育のグローバル化を目的とした体制整備を推進する事業に対して重点的に財政支援することを目的として、平成二十四年度より「グローバル人材育成推進事業」を実施いたします。

(※文部科学省のHPより)

これは、日本国内の大学に対して約2億円(※学生の規模による)を十校、約一億円を三十校公募し、最大五年間補助する

というものである。合計一五二校の応募あっている(平成二十四年七月二日現在)。グローバル人材育成という名の下、莫大な金額が投入されることになっている。留学はグローバル人材育成に必要不可欠である。日本は今まさに、国をあげてグローバル人材を育てることを、すなわち日本から海外留学をする学生を増やそうとしている。

ところで、ファシリテーションの手法の「ワールドカフェ」というものをご存知だろうか。日本は今までの「分断の文化」ではなく、立場を越えて未来を創造する必要性やコミュニケーションを深める時代、つまり「つながりの文化」へ変化しているのである。そこで、話しをする場や手法が求められ構築されたのが「ワールドカフェ」である。

簡単に手順を説明しよう。

一、小グループに別れ、模造紙とマーカーを各テーブルに用意され、話し合うお題を与えられる。話し合いの最中は、落書きのように自由に模造紙に話し合いで出て来た言葉などを書き残す。

二、第一ラウンド

話し合いをする。その後、一人だけ「テーブル・ホスト」を残し、それ以外の参加者はそれぞれ別のテーブルに移動。

三、第二ラウンド

ホストが、別のテーブルから来た人達と今まで話し合ったことを説明し、再び話し合いをする。

四、第三ラウンド

元のテーブルに戻り、それぞれに持ち帰った気付きを共有する。

僕はこの手法を初めて体験した時に、なぜ「ワールド」なのかということがすぐにピンときた。それぞれのグループ(自国)で話し合ったあとに、他のグループ(海外)へ行行って話し合いをしてくる。そして、学んで来たことを持ち帰り自国に還元する。まさに留学の本質ではないだろうか。「ワールドカフェ」のホストのように、自国にとどまる者も必要だ。海外に出た者と一緒に話し合い、協働し、共により良い社会を目指すことが大事なのではなからうか。

これからの若者の内向き志向からグローバル志向への転換を期待したい。

英語的思考の スス× vol.9

古賀英語道場代表の青柳達也による連載コラムです。
英語教育とグローバル人材教育というテーマについて、
色々な視点から世の中を見つめながらコメントしていきます。

7月～9月のお知らせ

●は地球市民の会、♥は古賀道場
★は夢の学校 の行事です

●スリランカ高校生招聘事業 「かたらんか～Cross Asia～」

8月2日(木)～10日(金)

♥第27回古賀英語道場スピーチフェスティバル

7月20日(金)

19:00～21:30 (中高生・大人の部)
古賀空手道場 2 F

♥古賀英語道場夏休み

7月23日(月)～8月15日(水)

★夏タマテ箱

8月21日(火)～24日(金)
金立教育キャンプ場

★ちびっこ夏タマテ箱

8月9日(木)～11日(土)
大串集落・大串公民館

●新かちがらす計画

8月19日(日)～26日(日)



♥第27回古賀英語道場スピーチフェスティバル

7月22日(日)

10:00～12:00 (小学生の部)
循誘公民館

♥古賀英語道場 2 学期授業開始

8月16日(木)

■佐賀から元気を送ろうキャンペーン

8月23日(木)～25日(土) 富士夢祭り



スタッフの
ひとこと

東日本大震災支援事業進行中です！「佐賀から元気を送ろうキャンペーン」
ホームページで活動をご確認下さい！ <http://www.genkiokurou.jp/>

To You

梅雨真った中です。おやじギャグなんです、 「梅雨」→「ツーユー」→「To You」と言うことで、誰か大切な人に、あたたかい愛のこもったメッセージをお願いします！

地球市民の会

- 大野 博之** 愛してます、といえる人。ありがとう、といえる人。ごめんね、といえる人。大好き、といえる人。心配、といえる人。嬉しい、といえる人。悲しい、といえる人。楽しい、といえる人。そんな人たちが僕の周りにたくさんいるので、僕は毎日を幸せに暮らせています。
- 江口 恵美** 愛する家族へ…いつも一緒に居ようでなかなか話せていない夫と娘と息子たち！怪我無く、元気でいてくれたら多少のことはドンマイ！自分の人生お好きなように楽しんでください。美味しいごはんを作って帰りを待ってます～v～
- 岩永 清邦** 同学年ですごいな！って思える3人の友人がいます。それぞれ出会った時期はバラバラですが、すごくいい刺激を受けた友人です。それぞれ海外で活躍している人や日本国内で活躍している人もいます。その3人には負けたくない！という気持ちでモチベーションを上げてきました！いい影響を与えれる人になれたな～！いつもいい刺激をくれてありがとう！
- 藤瀬 伸恵** 私とおばあちゃんの誕生日は10日違い。二人とも6月の梅雨生まれです。あじさいの花を見るとおばあちゃんを思い出します。おばあちゃんにとって唯一の女の子の孫である私。早く花嫁姿を見せてあげたいなぁと思ってありますが・・・おばあちゃん元気に待っててね～！
- 戸田 玲子** 先日、タイの里親さん達へ、里子達の進路報告のお手紙を書きました。TPA1年目に里親さんになってくださった方々への報告。初めての就職、佐賀での一人暮らし・・・私のでんてこまいな毎日を支えてくれたのは、里親の皆さんの「タイの子ども達に学ぶ喜びを届けたい」という温かい想いでした。これからも、地球市民の会をよろしく願います。
- 佃 麻実** 母が作った、茶色のお弁当（キンピラや煮物！）や手作りのおやつ・・・幼いころは嫌だと思っていました。でも今、ふと食べたくなるのはこの味。恋しくなるのはこの味。家族の健康を考えて作ってくれた母、ありがとう。私もこの味を引き継いで、自分の子供に食べさせたいと思うこの頃です。その前に結婚相手を見つけないと（笑）

古賀英語道場・空手道場

- 古賀 大之** 毎日あなた達が来てくれるから、道場はいつも賑やかです。毎日あなた達が来てくれるから熱気ある稽古ができます。毎日あなた達が来てくれるから怒り甲斐があります。毎日、毎日道場に来てくれるあなた達からやる気と元気をもらっています。いつもエネルギーをありがとう!!
- 古賀恵美子** いつも家族のために頑張っている大之先生♡！いつもありがとう！！言葉では言えないので書いてみました。
- 古賀 洋子** 一緒にいる時は、それがあたりまえで、離れてみて初めて、あたり前の大事さに気付かされ、それを繰り返しながらも、その繰り返しの、なかなか慣れることが出来ず……だからこそ、今現在のあたり前を大事に大事にしながら、私の大切な全てのあなた達に……ありがとう！！
- 青柳 達也** 僕は毎日のように、「お前はなんて可愛いのでしょう」と語りかけています。はたして、愛犬Romeo（ロミオ）と愛妻のどちらでしょうか？それとも両方でしょうか？（内緒です！）

夢の学校をつくる会

- 吉村 薫** 世界中の人が幸せにと…。しかし、今の私はあたたかい愛が欲しい（笑）
- 高柳 哲也** 蝉の音が暑さをかきたたせます。冷たくてのどしが良いそうめんは、この時期大好物です。それに欠かせないのがカツオが効いたTo You! 今晩あたりあなたもいかがですか？
- 山口 則子** 大切な人、それはもちろんダンナ様!! あなたがいてくれるから、いつも笑顔でいられます。感謝です!!

地球市民ネットワーク

- 北海道地球市民の会
〒061-3214 北海道石狩市花川北4条2-197
会長／阿部功 事務局長／新保知博
TEL・FAX：0133-74-1296
- 地球市民の会ふくしま
〒963-8681 福島県郡山市喜久田町1丁目120-1
(株)石黒
会長／事務局担当 石黒秀司
TEL：024-959-6426
FAX：024-959-6577
- 地球市民の会東京
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-2-13
会長／有澤正典 事務局長／伊藤敏行
TEL：03-3662-0331
FAX：03-3662-0400
E-Mail：arisawa@nun.co.jp
- 地球市民ACTかながわ
〒231-0821 神奈川県横浜市中区本牧原3-1-203
会長／近田真知子 事務局担当／伊吾田善行
TEL・FAX：045-622-9661
E-Mail：port@tpak.org
- 地球市民の会ぎふ
〒501-6241 岐阜県羽島市竹鼻579-1
竹花園内
会長／森幹治 事務局担当／平井八重子
TEL：058-391-5415
FAX：058-391-8600
- 地球市民みえの会
〒514-0027 三重県津市大門7-15津センターバース3F
津市市民活動センター内
会長／伊藤洋之 事務局担当／秋葉幸信
TEL：059-226-5700
FAX：059-224-8911
E-Mail：miemiemiemi21@hotmail.com
- 地球市民の会京都
〒605-0873 京都府東山区下島町484
会長／宮川尚子 事務局担当／西田一貴
- 神戸戸有頂天倶楽部
〒657-0045 神戸市灘区下河原通3丁目4-3
会長／松元隆司 事務局担当／大西陽治
- 愛媛地球市民の会
〒799-0712 愛媛県四国中央市土居町
入野859-1
会長／森高康行 事務局担当／丹生谷宗久
- 北九州地球市民の会
〒802-0006 福岡県北九州市小倉北区魚町1-5-14
中央会館2F
会長／河野一太郎 事務局担当／大山研児
TEL：093-521-8181
FAX：093-551-2296
- 地球市民の会福岡
〒814-0164 福岡県福岡市早良区賀茂2丁目30-4
(株)増屋内
会長／増田誠司 事務局担当／西村和寿
TEL：092-801-5888
FAX：092-801-5789
- （特活）コミネット協会
〒861-8039 熊本市長嶺南2丁目5-31
会長／池永憲貴 事務局担当／富田、田中
TEL・FAX：096-387-7139
- 古賀英語・空手道場
〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10
TEL：0952-25-2295
FAX：0952-26-4922
- 夢の学校をつくる会
〒840-0822 佐賀県佐賀市高木町3-10
TEL：0952-22-6262
FAX：0952-26-4922

ネットワーク・テラ 夏号 VOL.147

発行／
認定特定非営利活動法人 地球市民の会
〒840-0822
佐賀県佐賀市高木町3-10
ホームページ：http://tpa.nk.inet
E-mail：office@tpa.nk.inet
TEL：0952-24-3334
FAX：0952-26-4922
発行日／2012年7月20日
発行人／佐藤昭二
編集人／地球市民の会 事務局
印刷／(株)サガブリんティング